

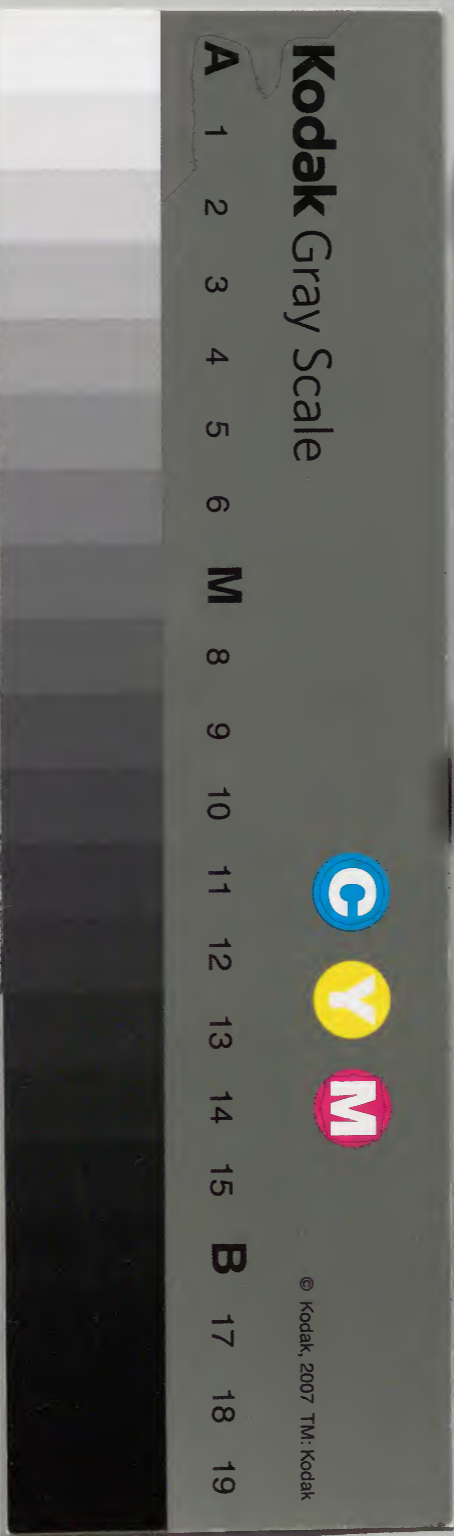
洋琴曲

校心操琴雅譜集 下

小技曲

内閣文庫			
番號	和	17138	
冊數	3 ( 3 )		
函號	199	228	

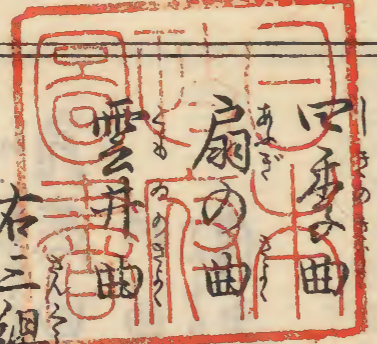
和書門				
類	號	函	架	冊
	一七三	二一八	一三	三



淺草文庫

撫箏雅譜集下之卷

三曲目録



右三組秘辛傳文の也

新組目録

羽衣

若葉

思おもひ川がわ

橋はし 堆たい

新あら雲うみ井い弄ろう齊さい

右みぎ新あら組ぐみ秘ひ子こ也なり

飛ひ燕えん曲きょく せいぎふてんたふ

此こゝ一いつ曲きょく新あら組ぐみ第だい一いつ之の秘ひ事こと

傳でん文ぶん也なり

三曲  
新雲井弄齊

四季曲しきのきょく 免めん一いつ三さん曲きょく

死し乃の春はるきき乃の所ところ也なり

ひびび乃の乃の乃の乃の乃の乃の乃の

人ひとのの乃の乃の乃の乃の乃の乃の

乃の乃の乃の乃の乃の乃の乃の

① 喜こゝろ乃の乃の乃の乃の乃の乃の

乃の乃の乃の乃の乃の乃の乃の

うぶすまやんかあや  
むくはきり

②

夏はうの花うらなふ  
あや免をらすなぞりこ  
風ふけはきりーをきり  
あやうらうはせあ子

③

秋をゆみら志うのぬ

ちぐされをねむねむ

あやまてなぐれ乃月ふ

むくはきり

④

あやまぐれをねむねむ  
えぞれあやうらえ

秋のあやふのゆきうら

むくはきり

扇の曲 あふぎ ぎょく

① あふぎの楳<sup>まゐ</sup>れはまがき  
 孫<sup>まご</sup>守<sup>まも</sup>りてる月<sup>つき</sup>は陰<sup>かげ</sup>り  
 かげりてあふぎの孫<sup>まご</sup>よ  
 らどくあふぎのまがき  
 何<sup>なに</sup>れも  
 ② まがきをまがきまがき  
 ③ まがきをまがきまがき

① まがきをまがきまがき  
 まがきをまがきまがき  
 まがきをまがきまがき  
 ② まがきをまがきまがき  
 ③ まがきをまがきまがき

月のやぶがあらひの月も廣<sup>ひろ</sup>深<sup>ふか</sup>は

④

ゆゑにうづりつりまぬく

あふりんとみらぬくか

名こそのかまふくたし

いふはふりぬかぬかぬ

⑤

意くてちひくく

ふりぬかぬかぬかぬ

まうんもぬかぬかぬ  
ふむゆだていざわあひ  
えん

⑥

何しゆひつる<sup>たか</sup>あはれ<sup>あ</sup>の

なまやひりたあじの

とくたせぬいけり

とふ<sup>あ</sup>の<sup>れ</sup>あぬのまぶ

くもりのきりり  
雲井曲

① 人見志ねぶの中なれだ  
 おのひハむねより陸奥  
 のちちあられ塩あねがま名のも  
 して魚うしぎさくも男おとこはぞ  
 ちがれ  
 ② 月つきすねやわらうる我

③ 身みのうしハおめおめだあ  
 名なも月つきうに人のささ  
 ねをねつぐあまあます  
 ちをちはさうふ何なにもくも

あをあねれすはるたれと  
 ここのねあまのさうねううね  
 てよりねもよわさうさうこれ

さねごもて

四

あきのうちれはまぐ

むりとおのりか

あれとさくさく

をくまや松のま風

五

あはれなれからとえ

よふもあはれあはれ

あはれなれからとえ

あはれなれからとえ

あはれなれ

六

あはれなれからとえ

あはれなれからとえ

あはれなれからとえ

あはれなれからとえ



大 羽衣

是乃新經秘子

①

悉れゆくは久々の

何戸のたぢあもまれば

費てるまあーいふ何ハ

その海にうごぬ津代

のきあーうあ

②

月一をささるゝおきづ

きありのおうしまでのぞう

ちかあーあううーあ

何うもれまはるゝあ

あやんがう

③

ちうのふげの夕風

あうゆあけおるゝあ

とと神のらばすゝあ

④  
 みるにやむの志は  
 形家  
 ようし  
 のねる神ありきこれ  
 ちろくちけ  
 やまのあはれを  
 ねん

⑤  
 みかづきほろろ

きだくさひかみ海  
 ありしき月新さえ  
 りちろくのちけ  
 物田乃

⑥  
 新代をなすおしれ  
 竹とのゆき

まはもあともまに老きぬ

ちぎりりるるる

若葉若葉

① ゆるまよーあふさる

あれらる葉のうらさる

およりやぶかろぬ神

乃はゆちぬる記まさる

まび孫うぬ

② うつるやそろり孫よ

のまろふぬ記すよふ

深ふをぬーにまさあ

るるまぶるるふふふ

の音音

③ りざりるまやぶる

ゆれくわん様ぞれ  
おのまれくーまこと形  
と風よりたふよんせげや  
④ かくまごのあつれあくとら  
まの乃戸ほそとほれふ  
あやそてまごころぬれれ  
うやとあぢみよりぬき

なご

⑤ さそれきぐおおや  
ほのふんくー花はき  
ふゆふんハあさぐさ  
まごづらあぞものうれ  
⑥ 川トうふくまあく  
まやーとまー山乃井

のあきんねがうもさう

あきんねがうもさう

あきん

あきん

① あきんねがうもさう

あきんねがうもさう

あきんねがうもさう

あきんねがうもさう

あきん

② あきんねがうもさう

あきんねがうもさう

あきんねがうもさう

あきんねがうもさう

あきん

③  
つひ乃まきりうふこりたえ  
まうるどほのちりともり  
にらんみーきあづさ乃  
りどがせれと名なまき  
づあもうらめー  
④  
はまおくもやくん  
とがえんうらめしきあはれ

五十一

⑤  
あろよりいどが神を  
はゆにぞあわれぬ  
意まびくうらめし  
ぬまやのあふよめら  
おほの海うみいさなり  
とれたやあなれづらん  
⑥  
ちろくにつらめらば

五十二

ひとまじらにほろめぐ  
なまけのきどふらつら  
やありはふらねみ

う那

橋はし婿むこ

① 名のうけうこめはゆ  
り屋ごのうまづまあら

なれくれよの仲ばうち

川のちしむえ

② 身のうねとあきあら

よんふとあはら

志あがめとむな一あ

さくおろまふ利整る

あがごぞうおき

③

らぬふせうのしるべ  
びうの苑のおもひげ  
よまればさみ母つとま  
くぬしちたるぞり  
さくぬん

④

はあのをねちぎりり  
あせのうちのまきけり

⑤

むあま何とくう治  
りさとくえんぞあり  
そぞりま  
せとかく形くぬまひ  
らふしむせぬうた  
あごちほ名れそきち  
むなりのうへうさけり



あがた

⑥ をねとふのあはれを

と海祓の津戸に

あうたふそれと海に

たごのむらうの人ぞ

急しき

しんまぬらうま  
新雲井昇集

① 月と海とをたかき

たけくつをたかき

えればたかき

あまき

② まさのあまき

あまき

うきふもたかき

③ 何れはけりあまうは花

中へこのよくえきぬ花をぞ

まらぐふも花をそぞまじ

新紀の内才一秘事

花燕曲

① 久しき花を乃花よりし

むりし志のぞくは花より

のふは花よりもまじぬ

花ぞとらう形

② よはてしき花を乃花

よすのむらまは花を乃

花を乃花を乃花を乃

花を乃花を乃花を乃

③ くれま井のまは花を乃

花を乃花を乃花を乃

① 由先ハ乃ハ家よこぐも  
 ② 今ハ此乃ききこく物  
 ③ ちうくやハ物ハ紙  
 ④ 志ハぶくハ物ハ紙  
 ⑤ 娘ハくハ物ハ紙  
 ⑥ あハ後ハ物ハ紙  
 ⑦ ちくハ物ハ紙  
 ⑧ ちくハ物ハ紙

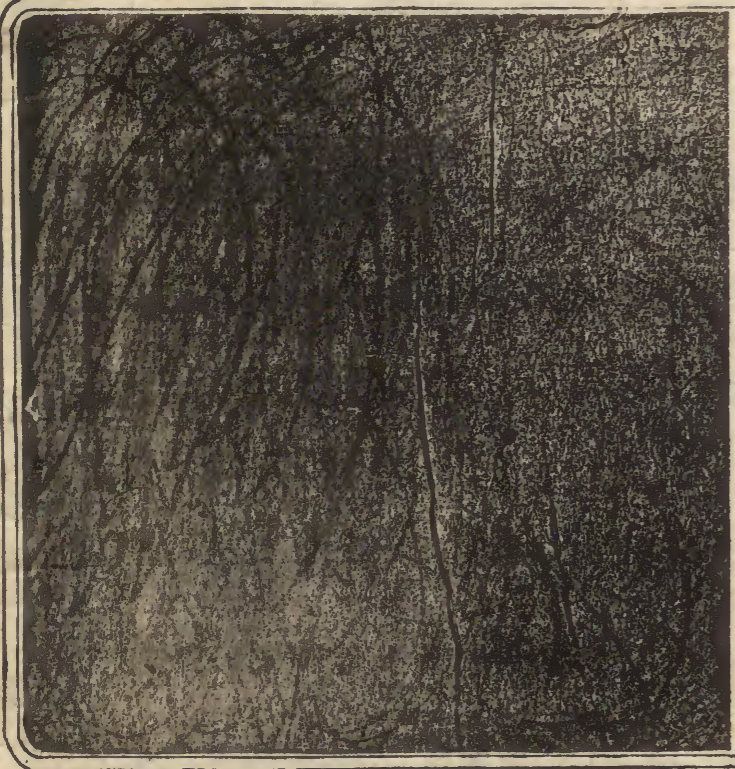
① ふうくハ物ハ紙  
 ② ちくハ物ハ紙  
 ③ ちくハ物ハ紙  
 ④ ちくハ物ハ紙  
 ⑤ ちくハ物ハ紙  
 ⑥ ちくハ物ハ紙  
 ⑦ ちくハ物ハ紙  
 ⑧ ちくハ物ハ紙

下  
地  
七  
十

Handwritten text in a rectangular frame, consisting of several lines of cursive script.

嘉永元壬子年正月

為本番次郎校正花板



五

庫	文	閣	內	
九	七	三	八	和
九	三	三	八	書
三	冊	號	類	
架				